

# ファミサポ通信

vol.20

発行：女子医大・東京医大ファミリーサポート室（委託：NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ）  
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学 本部1階 ファミリーサポート室  
☎03-5369-9075 fax 03-5369-9081

10月1日発行

2017

東京女子医科大学 医学部 日本語学 講師

## ● 辻村 貴子 *Tsujimura Takako*

皆様はじめまして。今年度より女子医大・東京医大ファミリーサポート(以下、ファミサポ)に危機管理や法律という観点から関わることになりました。私自身、ファミサポを利用する依頼会員でもあります。

5年ほど前に女子医大に赴任しました。一番驚いたことは、子育てと仕事を両立させておられるお母さん教職員が大勢いらっしゃることでした。院内保育所やファミサポなど出産から復帰後の子育て環境が前任地(国立大学)と比して、はるかに整備されていることにも感動したことを覚えています。着任当初は子どものいない共働き夫婦でしたが、女子医大の出産・復帰後の環境が整備されていること、先輩のお母さん研究者が大勢活躍している風土の中でなら、不器用な私でも大丈夫と思い、産んだ娘は今、2歳半になりました。

保育園の保育時間外に大学の会議に出席



▲出産後も女性研究者が活躍できる風土と環境に感動しました。

## ファミサポという存在の心強さ

しなければならないことや、子どもが発熱することもあります。夫婦ともに両親が遠方に住んでいるため、夫の当直などが重なってしまうと頼る人がおらず、「どうしよう」となりますが、学内にファミサポがあるということは大変心強いです。

これまで何度も利用していますが、私のサポートにあたってくださる提供会員の方はいずれもご自身がお孫さんの保育を経験された方です。娘がまだ0歳児の時、初めての子育てで悩んでいることを相談した際に、「大丈夫よ」と優しく穏やかに答えてくださったことで、心がすうっと軽くなったこともありました。

巷ではインターネットを介して保育サポートを依頼できるところもあるようですが、見ず知らずの人にマウスのクリックだけで自分の大切な子どもを預けることには母親として大変抵抗を感じます。女子医大・東京医大ファミリーサポートでは、ファミサポ利用に際し専門のコーディネーター立会いの下、依頼会員と提供会員とが事前打ち合わせを行い、同じ提供会員の方が以後サポートして下さいます。

提供会員の方は30時間の講習を受講しており、我が子の保育を依頼している間、お昼寝中も10分おきに子どもの呼吸を確認して下さるなど、大変きめ細やかに見て下さいます。女子医大・東京医大に籍があれば、非常勤・学生問わず男性の方も利用できます。依頼だけでなく、提供会員として援助することもできます。サポートを求める方と提供したい方が互いへの信頼の下に共につながる有意義な場です。

わずかばかりですが、これからファミサポ活動のお手伝いができればと思っています。

# 第14期 保育サービス講習会

2017年 6/5・9・12・15・19・22・27・28・7/3  
全30時間 会場：東京医科大学病院会議室



講師  
インタビュー

毎回  
ワクワク  
ドキドキの  
講習会

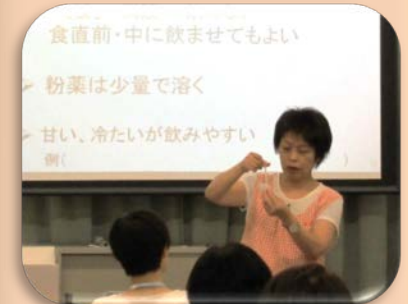


『小児看護の基礎知識』

●奥野順子氏  
(東京女子医科大学看護学部  
小児看護学講師)

私は普段、子どもの看護を大学生に教えています。受講者の方はどのような方かしら、と毎回、ワクワク・ドキドキですが、皆さまはとても熱心で、いつも楽しくお話しをさせていただいています。

サポーターの方々が、お子さまの体調の見方や生活の整え方などについて、少しでも自信をもって対応できるよう、微力ながらお役に立つことができれば、と思っております。



▲最新のグッズの使い方や、実験・実演が豊富な奥野先生の講義。

【受講者のアンケートより】

●全講座の専門分野の先生方のわかりやすい説明と豊富な資料で、充実した内容でした。



▲折り紙で作った指人形

子どもの心や身体の発達、食生活と栄養、事故と安全、あそび、暮らしとケアなど、テキストのほかに、講師独自の資料を交えた30時間の講習会を通して、最初は不安に思っていた受講者も、最後には子どもに会うのが楽しみになって修了証書を受け取ります。受講者22名のうち15名が修了し、提供会員となりました。



▲事故と安全



▲牛込消防署で受講する『普通救命講習』。救命技能認定証が取得できます。

【受講者のふり返りシートより】②

●感謝され、喜んでいただくと、やりがいを感じます。必要とされる活動をしたと感じました。

【受講者のふり返りシートより】①

●保育を提供するためには、事前打合せや連絡票が重要であることが理解できた。子どもの保育だけではなく、親の不安や苦痛が和らぐ対応が必要であり、こちらの心持が重要なことがわかりました。

▼前列中央が東京医大の古屋先生。その右が女子医大の野原先生。修了生の皆さん。



## スキルアップ研修会

2017年8月22日(火)13:00~16:00

会場: 東京女子医科大学健保会館大会議室(参加提供会員: 31名)

佐藤喜代氏(元東京女子体育大学・同短期大学教授)による『命の育みから旅立ちまでの支援～支援者の視点～』と題された研修会。子どもたちの様々な生活場面や表情から、私たち大人は何を読み取っているのでしょうか。はたしてそれは実際に子どもが感じていることと、どれくらいの隔りがあるのでしょうか。保育園で子どもと接し、現在は若き保育者の育成に尽力されている佐藤先生の、おもちゃ作りあり、絵本あり、歌ありの身体を使っての楽しい講義でした。

最後に小俣みどり氏によるリスクマネジメントの確認と、ヒヤリハット事例の検討をしました。



▲小俣みどり氏による『安心・安全なファミリーサポートのために』



▲新聞紙を使って、季節や役柄を変えて楽しめるかぶり物などを教えていただきました。

### ●提供会員のふり返しシートより①

佐藤先生の子どもに対する温かい見方・関わり方は、大人でも優しい気持ちになりました。マンネリになってしまうサポートにいろいろな遊びを教えていただき、是非、活用させていただこうと思います。

### ●提供会員のふり返しシートより②

子どもの記憶には、楽しい・嬉しいことよりも、怖い・悲しい思いが残りやすいとのこと、子どもには子どもなりの思いがあるということを目に入れて、子どもの心にどういう風に関わってあげるかが大切だと思いました。リスクマネジメントの大切さも、改めて考えるよい機会となりました。

▼ご自身が監修し、学生の指導用教材にしている『ちいさなたからもの』(清里遥・詩)という絵本を表情豊かに朗読される佐藤喜代先生。



## 第15期生【保育サービス講習会】受講生募集中!

お近くに子育て支援に興味のある方はいらっしゃいませんか。ぜひお誘いください。

会場は東京女子医科大学健保会館大会議室になります。

日	時間	内容	講師
2017年 11月6日(月)	13:00 開場	受付開始	
	13:30~14:30	開校式 オリエンテーション	村田律子 ファミリーサポート室コーディネーター
	14:30~16:30	保育の心	小俣みどり氏 保育士 NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長
11月8日(水)	9:30~12:30	心の発達と保育者のかかわり	湯汲英史氏 (社)発達協会 早稲田大学非常勤講師 言語聴覚士・精神保健福祉士
	13:30~15:30	障害のある子の預かりについて	
11月14日(火)	9:30~12:30	小児看護の基礎知識	奥野順子氏 東京女子医科大学看護学部小児看護学講師
	13:30~15:30	身体の発達と病気	首里京子氏 東京女子医科大学母子総合医療センター新生児医学科非常勤講師
11月17日(金)	9:30~12:30	子どものあそび	大森靖枝氏 劇団 風の子
	13:30~15:30	子どもの暮らしとケア	小俣みどり氏 NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長
11月21日(火)	9:30~12:30	子どもの栄養と食生活	吉田朋子氏 管理栄養士 NPO 法人ワーカーズ・コレクティブちるりん村
	13:30~16:00	事故と安全	小俣みどり氏 NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長
11月27日(月)	13:30~16:30	普通救命講習	救急救命士 牛込消防署・東京防災救急協会
12月1日(金)	13:00~15:30	保育サービスを提供するために	小俣みどり氏 野原理子氏 NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ理事長 東京女子医科大学衛生学公衆衛生学(一)教室講師
	15:30~16:30	修了式・修了証授与	

※11/14と11/17の講義終了後 女子医大院内保育所・病児保育室見学

## 提供会員さんの感想より

# とても楽しくございます



可愛い双子ちゃんと仲間の皆さんと楽しい活動をさせていただいております。この上ない幸せを毎週実感しております。(2歳男児の保育園のお迎えと帰宅後の預かりをするSKさん)

野菜を育てている所や猫ちゃんのを観察しながら歩き、毎週楽しいです。(5歳女児保育園のお迎えをするSAさん)

ごっこあそびで保育園の送迎を再現している♡♡ちゃん。お帰りの時の再現では、ママ役の♡♡ちゃんは、子ども役のお人形をギュッと抱きしめています。お母様がいつもしてくださっているのをよく見ているようです。(3歳女児の入園前の保育をするSEさん)

体力の限界に挑戦しているような2週間でした。来週から保育園に行かれることを祈っています。仲間の皆さまと協力して充実した時間が過ごせました。(兄弟が次々に風邪をひき2人同時に病児保育となり数人で担当したSさん)

何をするにも必ず「〇〇さん、〇〇さん」と何度も名前を言ってくれて嬉しかったです。こんなに名前を呼ばれることはないので、可愛い声で呼ばれて感激です。(2歳男児の病児保育をしたOさん)

まだまだ生まれたての Baby のように可愛い仕草にため息でした。片方が泣いていると、もう片方も泣き出し、ミルクをあげている時はじっと見つめていて、これからの成長がとても楽しみだなあと、癒やされながら援助しました。(2か月の双子の一時預かりをするKさん)

## 平成 29(2017)年度後期スケジュール ぜひお出かけください。

お会いできるのを楽しみにしております。※スケジュール・会場は変更される場合があります。詳細は後日お知らせします。

### ●全体交流会……10月28日(土) 11:00~16:00 ※女子医大祭のイベントのひとつとして開催。

女子医大祭は 27日・28日の2日間開催。

その間はファミサポの活動の様子を展示しています。

どなたでも参加できます。おでかけください♪

### ●保育サービス講習会…11月6日(月)~12月1日(金) (全30時間) ※詳細は3ページをご覧ください。(第15期) 会場：東京女子医科大学健保会館(新宿区若松町 10-2)

何度でも勉強に来てください。

### ●後期スキルアップ研修会……2018(平成30)年2月22日(木) 13:00~16:00

【重要】

会場：東京女子医科大学健保会館大会議室

【編集後記】 ●提供会員さんの活動の感想の第一声は必ずと言っていいほど『かわいいです〜』。その笑顔とそれに続く感謝の言葉に、こちらこそありがとうございますと応えます。お互いさま、お陰さまで…そんなやり取りが嬉しいです ●全国のファミリーサポート・センターは800を超え、そのうち20時間以上の保育サービス講習会を実施しているセンターは約20%。国の指導により少しずつ増えてきたとは言え、女性労働協会に認定された講習会(24時間)を実施しているセンターはさらに少ないのです ●当ファミリーサポートは設立当初から30時間の講習会を実施続けています ●教職員の皆さまのご登録・ご利用をお待ちしています。(村田)

## 女子医大・東京医大ファミリーサポート室

●受付時間：月～金曜日 9:00~17:00 直通☎：03-5369-9075 fax：03-5369-9081



〒162-8666 新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学 本部1階 ☎03-3353-8111(内線 41152)

〒160-8402 新宿区新宿 6-1-1 東京医科大学 医師・学生・研究者支援センター ☎03-3342-6111(内線 2044・2047)  
family-support.bm@twmu.ac.jp http://www.twmu.ac.jp/w-support/family-support/